

令和元年度(平成30年度実施事業分)事務事業評価評価票

				No.	31-009		
PDCA	事務事業名	博物館展示等整備事業	部課等名	教育部 博物館	担当 内線等		
					秋山 23-7173		
P 総合計画との関係性等	政策体系	章： 第5章 育ち合い共生を進めるまち 節： 第2節 生涯学習の推進 基本施策： 3. 文化の継承と創造 単位施策： (2) 文化の振興 個別施策： ②博物館の活用					
	根拠法令等	博物館法、半田市立博物館条例、半田市立博物館条例施行規則					
	対象・目的	郷土の歴史、伝統文化や科学、芸術への市民の理解を深めるため、博物館が所蔵する貴重な資料の展示・活用方法の見直し及び後世に伝えていくための保護を行う。					
	目的を達成するための手段・活動内容	・国指定の重要有形民俗文化財「半田の酢醸造用具」を保護するとともに、より分かりやすい解説にするため、国の補助を活用し展示室の改修等を行う。					
D 前年度の活動結果と見られた成果	活動結果	活動実績	28年度	29年度	30年度	単位	
		①常設展示室Ⅲの改修及び監視カメラの設置	—	—	1	件	
		②				件	
		③					
		事業費			5,899	千円	
		人件費			1,312	千円	
		総事業費			7,211	千円	
		活動単位当たりのコスト	28年度	29年度	30年度	単位	
	①市民1人当たりの常設展示室Ⅲの改修及び監視カメラの設置コスト	—	—	35.5	円		
	②						
	③						
	成 果	成果指標	28年度	29年度	30年度	単位	
		①博物館年間入館者数	実績値	—	—	95,961	人
			目標値	—	—	98,000	
②常設展示室Ⅲの改修及び監視カメラの設置工事の進捗率		実績値	—	—	100	%	
		目標値	—	—	100		
③		実績値					
	目標値						
C 課題の整理	観点別評価	必要性	有効性		効率性		
		①市の関与の妥当性 妥当	④上位施策への貢献 大きい	⑦コスト削減余地 ない			
		②市民ニーズ 高い	⑤成果向上の余地 ある				
	③休廃止の影響 大きい	⑥類似事業の有無 ない	⑧受益者負担適正化余地 —				
A 課題解決のための目標	事業の評価・課題	A 展示室の整備（資料の固定、監視カメラの設置、天井照明のLED化、映像コーナー・解説パネルの設置）については国の補助を受けて完了し、貴重な資料を保護するとともに、より分かりやすい展示にすることができた。今後は、団体見学時などの展示解説で有効に活用するとともに、より子ども向けの解説やワークシートの作成など、ソフト面での整備を進めていく必要がある。					
	今後の事業の方向性	改善推進 ソフト面での整備を進めていくにあたり、平成31年度に実施する「半田市紹介映像ソフト制作」において、整備を行った展示室を活用し、鑑賞者（主に市内全小学校3年生）が半田の酢醸造について分かりやすく学べる内容にする。					
A 課題解決のための目標	令和元年度の目標	成果指標	目標値		単位		
		①博物館年間入館者数	100,000		人		
		②展示資料作成の進捗率	100		%		